

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292700067		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホーム ガーデンコート天王台		
所在地	千葉県我孫子市柴崎台3-9-19		
自己評価作成日	平成25年1月11日	評価結果市町村受理日	平成25年3月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成25年1月29日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ヘルシーサービス全社で共有している「お客様、ご家族、地域の健やかな暮らしに貢献する」という社是を念頭に置き行動するように努めています。お客様の自立支援、残存能力の活用にも力を入れています。お客様が出来ることは何でもお客様と行っています。お客様の出来ないことを探すのではなく、出来ることを見つけていくよう心がけています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「あなたの心を感じられる私たちがですよ。そして、みんなのもう一つの我が家を作ろう」をホームのスローガンとし、職員間で共有しながら、スローガンの実践に取り組んでいる。日々の支援においては、利用者に役割を持って頂く事に力を入れて取り組み、自立支援の向上に対する職員間の意識も高まってきている。また、毎月外出事を企画し、花見、チュウリップ、あやめ、コスモス、紅葉散策や花火鑑賞など利用者の希望も踏まえ、戸外に出かけられるように支援し、利用者の生活の幅を広げている。地域との交流では自治会に加入する等、交流充実に向け着実に前進している。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所としての理念は周知徹底している。地域密着サービスとしての活動にはまだ余地がある。	リビングには大きく墨書きで「あなたの心を感じられる私たちでいよう。そして、みんなのもう一つの我が家を作ろう」を掲げ、管理者とスタッフは、ミーティング等で確認し、その理念を共有して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常の散歩や月に一度の行事、またボランティアや筋力体操、自治会参加において地域の方との交流を図っている。	地域との交流では、毎週介護予防活動として「貯筋体操」を実施しており地域の方の参加があるほか、自治会へ加入し地域との交流に努めている。事業所の防災訓練にも地域の方に声をかけ協力体制が築けるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今後も地域に向けての貢献を果たしていきたい。介護を必要とされている地域の方々の選択肢の一つになれるようにする。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で活動報告の他に現在出来ていること、課題としていることを公表し、参加者からのアドバイスを受け実践に結び付けている。	家族や小学校の校長、民生委員、地域包括支援センター等の参加を受け、定期的を開催され、活動状況、課題やそれに対する計画、感染症や衛生管理についてのご意見の聴取、家族のご要望の聴取等を行いサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	課題や問題が発生したときには連携するも、常には実施していない。	市町村担当者とは、運営にあたっての疑問や相談ごとがあれば連絡を取り指導を仰いでいる。施設の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え、介護予防での連携を深めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての知識を研修し、スタッフ一同理解を深め、行なわないように努めている。玄関の施錠に関しては、行なっているのが現状です。	管理者が身体拘束の研修や講習を受け会議の中で職員に伝達している。これにより、スタッフは身体拘束をしないケアに取り組み、実施している。玄関の開閉はオートロック式を採用している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についての研修を実施し、それが起きないように努めている。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ヘルパー会議にて周知している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	お客様または代理人様に対してわかりやすく充分理解いただけるよう努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の中などでいただいたご意見や要望を、運営に反映させている。また、ご利用者、ご家族にはこちらから話しかけ、要望、質問を聞ける機会作りをしている。	アンケートの実施(顧客満足度調査)、来訪時(運営推進会への出席、イベントの開催)、電話連絡時、ケアプランの説明時にご意見、ご要望を聞く機会を設け、それらを運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ヘルパー会議の内容が一方向的にならないよう、必ずフリーディスカッションを設けている。	管理者は定期的に年2回の個人面談を実施するほか、日常的に管理者やケアマネジャーからスタッフに声をかけるようにしている。また会議後、フリーディスカッションを行い意見交換を実施し、それらの意見を吟味して運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境については個々の面接などを通じて悩み事の相談等を行ない、今後の目標等を話し合いながら向上心を保てるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパー会議を利用し情報の共有化を行い、研修も随時実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	計画作成担当者を中心に他事業者との交流を実施している。また、地域の連絡会等にも積極的に参加している。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用開始直後は特にお客様の情報収集に傾注し深く関わることを行なっている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用前にお客様ご家族の要望についてお聞きする機会を必ず設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始時にお客様の要望をお聞きする機会を設け、状況に応じては他のサービスの紹介も行なっている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の出来ることや要望をしっかり把握し、一方的な介護にならないよう関係構築をしている。ADLが向上、維持できるように関わっている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用開始のときに双方の協力関係が大切であることは伝えている、		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お客様のこれまでの経歴やお仕事、趣味などは支援をするに当たり大事なファクターと考えており、その部分の情報共有を実施している。	利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族の協力を得て友人や親類の来訪、馴染みの場所へ出かけるなどを実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の人間関係も、利用いただく上での重要な事項であり、配慮をしている。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了した方にも不定期ですが連絡をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様一人ひとりの思いや暮らし方、意向は最重要事項と考えている。常にそのことへの配慮を全員で心がけています、	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握は最重要事項とし、日常的な会話や家族の要望の聴取時にその把握に努めている。その把握が困難な場合は、本人本位に検討し、実行している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴などは、個人台帳に記載し個人情報尊重の中でいつでも閲覧可能にしてある。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	実施しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ヘルパー会議などを利用し、スタッフが気付いたお客様個々の情報収集を行い、今後のケアに役立てている。	アセスメントにおいて利用者の課題を収集し、担当者会議において職員からの意見を収集しケアプランを作成している。ケアプランは家族に説明し同意を得ているほか、毎月のモニタリングにおいて利用者の満足度、プランの達成状況を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノートを作成し、小さい気づきも記載し介護計画に反映している。朝、夕の申し送りも情報共有の場として活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お客様一人ひとりのニーズに敏感であり、働く仲間から広く意見を収集している。ご家族、利用者と相談し、支援内容を検討しています。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣では小学校、自治会と交流していません。初詣など、地域の行事に参加するようにしています。また、市と連携して介護予防教室を週に1回開催しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の意向を大切に、納得した中で利用して頂いております。医療機関も柔軟な対応をしています。	利用者が適切な医療を受けられるように提携先医療機関による往診ほか、担当医とは24時間連絡体制を築き、緊急時や状態変化時において迅速な対応が図れる体制を整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	薬の管理や利用者様の健康チェックを行い、相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後、主治医との相談、ソーシャルワーカーとの連携を図り状況の把握に努めています。状況に応じた対応をとっています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族、医療と常に連携をとり、医療情報をご家族、スタッフと共有し、ケアします。	重度化や終末期に向けた方針については早い段階から事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、重度化が見られる場合は、家族や主治医と連携を深め今後の支援方針を検討することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事業所の定期的な会議の場において、研修を実施したり、他事業所で起きた事例等を検討したりし、急変に備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練などは実施し、お誘いするもまだ参加者がいません。、地域住民の方との連携が今後の課題。運営推進会議の課題でもあり、協力体制を作れるように検討している。	消火訓練、通報訓練、夜間を想定した避難訓練を今年度2回実施している。備蓄品としては、飲料水、生活水として風呂水(1日貯置き)、コンロ、ラジオを備蓄している。避難訓練実施の際には地域の方にも声をかけ協力体制が築けるよう努めている。	事業所の近隣はアパートが多くかつ単身者が多いことから、災害時における地域との協力体制をどのように築くか、事業所から多少の距離があっても事業所の理解が得られる自治会の方々の協力も視野に取り組まれることに期待したい。

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ヘルパー会議等で全員に徹底し対応している。	スタッフはトイレ使用時や入浴時に細心の注意をもって支援に当たるように心がけ、声かけの対応や個人情報の取り扱いについては、内部研修の実施により、スタッフ一人ひとりのレベルを高め、基本的なことを忠実に対応できるよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる限り利用者様に選択して頂くようにと働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様のご希望を第一に考え、介護する側の都合によるケアは行っていない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を利用しています。ご本人の好みを聞いたりし、お洒落を楽しんで頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の残存能力に応じて行なっています。掃除やおぼん拭きやお皿洗い等行なっている。	食事の準備や後片付けでは利用者も関わりながら進める事が出来るよう支援している。食事を楽しむ工夫では、事業所の外のスペースを活用してのバーベキューや行事食の実施等利用者の要望も踏まえ取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は生活の中で一番大切なものと位置づけています。食事量や水分量は個人記録にて管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人個人の状態に合わせた対応をしている。		

グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導、オムツ交換を行なっています。	利用者一人ひとりの排泄状況については、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を作成し、便の状態や量を記入している。食材や水分量、医療機関との連携もとっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個人の好み、気分を尊重し実施している。	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、利用者一人ひとりに沿った支援を図っている。入浴中は職員が介助につき安全に入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝や休息も個人個人の要望を尊重している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬を出すとき、服薬する時等、常に2人以上で二重チェックを行い、誤薬防止を徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	買い物に行くときは利用者とは出かけるようにしたり、散歩にお誘いしたり、スタッフを交えたレクをしたり、個々にやりたいこととして頂けるようにしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事で外出したり、買い物と一緒に来て頂いたり、定期的にドライブ、散歩等を行なっている。	日常的には散歩や買い物などを行なっているが、毎月1回外出行事を企画し、花見、チュウリップ、あやめ、コスモス、紅葉散策や花火鑑賞など利用者の希望を把握し、家族等の協力も得ながら戸外に出かけられるように支援している。	



グループホームガーデンコート天王台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、現金の管理はトラブルを避ける為に事務所で管理している。本人が使いたいといった時は、お金を預かり、一緒に外出して買い物を楽しんで頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そのような要望があったときは、すぐに対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事に合わせて装飾したり、冷暖房の管理、空気の乾燥の管理、日光や空気の入替えを行い、過ごしやすい環境を作るように努力している。	共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮され、行事や季節に合わせて装飾したり、掲示をして生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファやテレビを置き、自由に過ごして頂けるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族に協力を要請し、慣れ親しんだものを持ち込んでいただいている。	居室は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れた家具や好みのものを活かして、ご利用者様が居心地よく過ごせるように職員が整理整頓に努めるなど支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様個人個人のペースに合わせた支援を心がけている。また、残存能力を活かしたケアにも心がけている。		